

これまでの今治市 × 空飛ぶクルマの取り組み

愛媛県今治市



今治市の紹介

愛媛県今治市

人口:146,721人（令和7年3月末住基）

- 四国5番目の人口規模（12市町村が合併）
- 瀬戸内しまなみ海道 四国側の玄関口
- タオルと海事産業とサイクリングのまち
- 住みたい田舎ベストランキング 1位
- 日本遺産「村上海賊」
- J2「FC今治」(アシックス里山スタジアム)



なぜ空飛ぶクルマ？



通行料が発生

- 平成17年1月
12市町村が大合併
- 「市街地」「島しょ部」「山間部」
多様な地勢
- 「大島」「伯方」「大三島」からは
瀬戸内しまなみ海道(有料道路)

- ・ 住民の移動コストの軽減
- ・ 災害や緊急時の移動手段確保
- ・ 観光客の2次交通対策

新しい技術の活用による
解決手段の検討

今治市における空飛ぶクルマの取組

○社会受容性向上

- ・空クル操縦体験(R5.3)
- ・しまなみ近未来フェア(R7.2)



今治市における空飛ぶクルマの取組

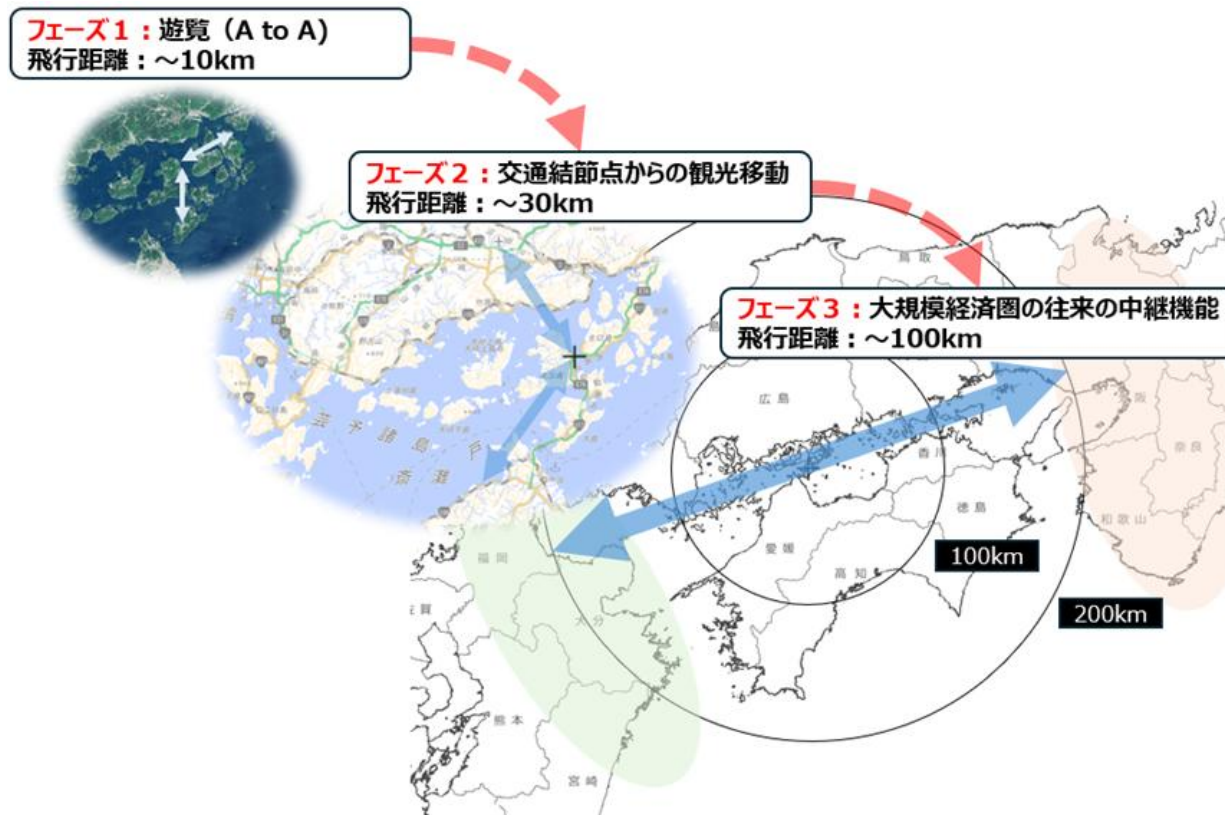
空飛ぶクルマ実証飛行(R5.3)



今治市における空飛ぶクルマの取組

「空飛ぶクルマ」運航実現に向けた離発着場候補地等環境調査事業 (R6 愛媛県・今治市共同委託)

愛媛県内において、しまなみ海道を有し、瀬戸内の中央に位置する今治市における運航ルート案の検討、その離発着場の整備や飛行経路等に関して、社会実装に必要となる事項の調査を実施。



期待

- 過疎地域や離島での移動、救急医療や災害時の救助など、暮らしの安心につながる新しい交通インフラとしての役割。
- サイクリング観光に加え、上空から瀬戸内の多島美を楽しめる「空からのしまなみ観光」という新たな目玉。
- 世界に誇れる特別な体験を提供し、今治への滞在価値を高めることによる富裕層観光客の獲得。

課題

- 機体が安心安全に運行できる水準に達することが不可欠。
- 離着陸場や充電設備などの整備、そして持続的に運営できる収益性の確保が課題。
- 社会受容性の向上、住民の理解